

# 高知県立大学大学院 看護学研究科 特別講義

看護学研究科では、がん看護専門看護師としてご活躍されている  
嶋中ますみ先生を講師としてお招きし、「がん看護専門看護師の活  
動の実際と展望」と題して特別講義を開催いたします。

本講義は看護学研究科、健康生活科学研究科の方を対象に公開し、  
今後の皆さんの参考にしていただければと願っています。

ふるってご参加下さい。

## がん看護専門看護師の活動の実際と展望 ～役割開発と役割拡大～

講師：嶋中 ますみ 氏

(恩賜財団済生会横浜市南部病院 がん看護専門看護師)

日時：平成24年10月12日(金) 13:30～15:30

場所：高知県立大学池キャンパス 看護学部棟C220小講義室

(お問い合わせ)

藤田研究室(看護学部棟301)

fujita@cc.u-kochi.ac.jp

看護学研究科：がん看護学特別講義が開催されました

10/12、嶋中ますみ先生（済生会横浜市南部病院 がん看護専門看護師）をお迎えし、看護学研究科、健康生活科学研究科の院生および修了生を対象に特別講義をしていただきました。

嶋中ますみ先生は、高知女子大学看護学研究科2期修了生であり、がん看護専門看護師のパイオニアとして活躍されてきたお一人です。まだ日本に専門看護師がほとんどいなかった頃から、努力に努力を重ねて活動し、組織の、そして日本のがん看護の質の向上のために取り組んで来られました。



【講義をされる 嶋中ますみ先生】



【講義中の様子】

講義を受けた学生さん達から感想が届いています。

「CNSは看護師がよりよい看護し、活躍するための資源であること。そのための場を与えられていることに、感謝をしながら働いていたことが印象的でした。」

「私自身、臨床に戻った時に、どのように取り組んでいけばいいのか漠然としていたので、とても興味深いご講演でした。自分のヴィジョンをしっかりと持ち、所属する組織をがん看護の視点から把握し、課題を明確にして戦略を練って実践していくことの重要性を学びました。」



【熱心に話を聞く大学院生・修了生のみなさん】

「人を見て組織を見て、戦略的に変革していくことが重要であることを学びました。また、CNSの姿勢として、焦らずにあきらめない心をもつことや、苦悩する者のために戦う者であるという言葉が印象に残りました。そして、自分なりのCNS像を目指すことの大切さを学びました」

「‘CNSとしてどうあるべきか、何をしたいのか自分の中でぶれない何かを持って、自分のできる範囲でできる事を行っていくことと’という言葉が印象に残っています。自分が出来る事をきちんと把握していることが大事であり、そのために自分自身を客観的に見ることができるようにならなければならないと思いました。」

鳴中先生からいただいた言葉と力を大切に、また心を引き締めて頑張りたいと思います！

鳴中先生、ありがとうございました。